

音声録音ソフトの導入(7)

—Moo0 の評価(7)—

1. 始めに

前報(6)までに種々の音源について Moo0 による録音を実施しましたが、音質について詳しく述べていませんでしたので、今回改めて録音音源の音質を評価します。

2. Moo0 録音音源の試聴方法

前報(6)までに録音した元音源は、次のとおりで、由来の詳細は前報(6)までの報告を参照してください。

BPODCH

ウイーン国立歌劇場 (OTTAVA TV)

YouTube

TIDAL

Spotify

MQA ストリーミング

前報(6)までは、PC の SSD 上に収納した音源を **Hi-Res Editor** で再生していましたが、今回は、**fidata HFAS1-S10** の SSD 上にコピーして **fidata** アプリを使って **Brooklyn DAC+** 経由で再生しました。

3. Moo0 による録音の試聴結果

YouTube、**TIDAL**、**Spotify**、**MQA** などのストリーミング再生からの録音音源の場合、元音源のクオリティに依存します。

BPODCH やウイーン国立歌劇場の配信からの録音音源の場合、最新の音源であり、ほとんど無加工のものですから、AAC の圧縮で送られてきているとは言え、鮮度感があり、ホールや歌劇場のライブの臨場感が十分に味わえます。

Moo0 による録音は **44.1KHz16bit** で CD クオリティですが、一般の CD のクオリティに勝るとも劣らないレベルであると言えます。同好の士にも録音と音質評価をしていただきましたが、同様の感想でした。

4. まとめ

Moo0 録音音源の音質は元音源のクオリティに依存しますが、**BPODCH** やウイーン国立歌劇場の配信などは、一般的な CD のクオリティに勝るとも劣らないレベルであることが分かりました。

以上